

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公開番号】特開2003-222783(P2003-222783A)  
 【公開日】平成15年8月8日(2003.8.8)  
 【出願番号】特願2002-21780(P2002-21780)  
 【国際特許分類第7版】

G 0 2 B 7/10  
 G 0 2 B 7/08  
 G 0 2 B 7/09  
 H 0 4 N 5/225

【F I】

G 0 2 B	7/10	Z
G 0 2 B	7/08	A
G 0 2 B	7/08	B
H 0 4 N	5/225	D
G 0 2 B	7/04	A

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月15日(2004.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

物体側から順に、フォーカスレンズ群と、変倍レンズ群と、前記変倍レンズ群と撮像手段との間に配置されるウォブリングレンズ群とを備えており、該ウォブリングレンズ群を光軸方向に駆動させる電動駆動手段と、該電動駆動手段により前記ウォブリングレンズ群を駆動したときに撮像手段で得られる信号に基づいて前記ウォブリングレンズ群を合焦位置へ駆動するための駆動信号を演算する演算手段とを有し、前記駆動信号に基づいて前記電動駆動手段により前記ウォブリングレンズ群を駆動することにより合焦制御を行なう撮像装置において、

前記ウォブリングレンズ群を手動で操作するための手動駆動手段を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記ウォブリングレンズ群の手動駆動手段と、前記ウォブリングレンズ群の電動駆動手段とを切り替える切替え手段を有することを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

(1) 上記目的を解決するための本発明に関わる撮像装置は、物体側から順に、フォーカスレンズ群と、変倍レンズ群と、前記変倍レンズ群と撮像手段との間に配置されるウォブリングレンズ群とを備えており、該ウォブリングレンズ群を光軸方向に駆動させる電動

駆動手段と、該電動駆動手段により前記ウォブリングレンズ群を駆動したときに撮像手段で得られる信号に基づいて前記ウォブリングレンズ群を合焦位置へ駆動するための駆動信号を演算する演算手段とを有し、前記駆動信号に基づいて前記電動駆動手段により前記ウォブリングレンズ群を駆動することにより合焦制御を行なう撮像装置において、

前記ウォブリングレンズ群を手動で操作するための手動駆動手段を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

(2) 本発明にかかる撮像装置は、物体側から順に、フォーカスレンズ群と、変倍レンズ群と、前記変倍レンズ群と撮像手段との間に配置されるウォブリングレンズ群とを備えており、該ウォブリングレンズ群を光軸方向に駆動させる電動駆動手段と、該電動駆動手段により前記ウォブリングレンズ群を駆動したときに撮像手段で得られる信号に基づいて前記ウォブリングレンズ群を合焦位置へ駆動するための駆動信号を演算する演算手段とを有し、前記駆動信号に基づいて前記電動駆動手段により前記ウォブリングレンズ群を駆動することにより合焦制御を行なう撮像装置において、前記ウォブリングレンズ群を手動で操作するための手動駆動手段と、前記ウォブリングレンズ群の手動駆動手段と前記ウォブリングレンズ群の電動駆動手段とを切り替える切替え手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明に関わる撮像装置は、何らかの理由によりズームレンズに電源が供給されないために全ての電氣的駆動が行なえない事態に撮影者が陥ったとしても、該ウォブリングレンズを手動操作することの出来る操作部を設けることによって、撮影者はズームレンズ本来の役割を最低限用いて撮影行為を行なうことを可能とするものである。